

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	わんぱくキッズ			
○保護者評価実施期間	2024年6月30日		～	2024年 11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	19
○従業者評価実施期間	2024年 9月 11日		～	2024年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小学1年生からご利用の利用者さんが、高校3年生になっている。利用者さんはもちろん保護者の方とも長い付き合いとなっている。	・一人一人の発達年齢に合わせた課題の工夫と、生活年齢に合わせた支援内容。一人一人の特性を考慮した取り組み。 ・保護者に直接迎えに来ていただくため、情報交換や助言、連絡も密に行っている	・コロナで出来なかった保護者会、ペアレントトレーニング等で保護者間の交流や意見交換等。 ・職員の利用者さんへの理解を深めるための勉強会。 ・職員のいろいろなケースに対する支援の方法を学ぶ勉強会
2	・学校迎えはするが、自宅送りがない。	・保護者の方がお迎えに来てくださったときに学校や家での様子や特記事項、家族のお話等をお聞きし、情報を得ることで利用者さんの深い理解が得られるし、助言もさせて頂ける。利用者の大半が小学生ということもあって、まだまだ手をかけていきたい。	・深いお話をされたい方には相談室にて伺い、家族支援とさせて頂いている。
3	・正職員、パート職員が全員有資格者である。バイトの学生さんにおいても特別支援教育を志す方、教師を志す方で構成されており、全体的に意識が高く、向上心がある。	・打ち合わせや職員会議で、一人一人の利用者さんの連絡事項確認、ケース会議等を行い、意見を出し合って支援に生かしている。	・虐待、感染症はもちろん、支援技術等の外部研修、内部研修ともに積極的に取り入れている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所利用歴が長い為、職員が利用者さん理解があると感じてしまい、新鮮味にかけられる部分が出てくることがある。 ・事業所利用歴が長い為、利用者さんが職員との関係に置いて、新鮮味にかけられる部分がある。	・職員はモニタリング等の情報を共有し、常に新しい利用者さんの情報を把握する努力をしていく。 ・事業所内の環境がマンネリ化することのないよう、環境調整に配慮する。 ・ボランティア、介護等体験の学生受け入れ等を積極的に行い、新鮮な職員との触れ合いを経験していただく。	・環境を整える点において、外部の目線で見ることにより、危険な点、改善点を見つける努力をする。 ・子育てサポートを頻繁に行い、保護者にも活動や環境についての意見を頂く。
2	・自宅送りがない	・自宅送りがないことは保護者の方にご負担をおかけしているところもあるが、放課後デイの様子、学校引継ぎの様子等を迎えにいらした保護者に話し、タイムリーに相談助言を行う。	・玄関の外でお待たせすることのないように、中に入っているだけでいい、込み入った話の場合は相談室で話を聞く。
3			